

感動を再び！ もう一つのトリエンナーレ 松代高校文化祭 “雪穂祭”



「天空のラピュタ」が畳24枚分の大きなちぎり絵で登場。新潟日報11月5日の話かこのコーナーでも取り上げられたちぎり絵は、松代高校文化祭のテーマである「翔（かける）」をあらわし、同校生徒が2ヶ月をかけた大作でした。

文化祭では、東北・名古屋・関西・博多・沖縄など、全国の方言を取り入れた劇もあり、楽しいものでした。「方言劇をとおして日本を知るきっかけにもなった」と、生徒の一人は話していました。沖縄への修学旅行がきっかけで、インターネットを使っての言葉の習得もあったとか。また、3年A組では8年後の同窓会を設定したビデオ上映会も行われました。これを見逃したのは残念でした。チャンスがあったら見たいものです。写真は、実行委員の皆さんに集まってもらったときの1枚です。「地域の皆さんありがとうございました」とは、生徒たちの言葉でした。

主な内容

- 学校が変わる……………②～③
- 1年のできごと／農業賞……………④～⑤
- できごと……………⑥～⑦
- 「登場」スターノフ・佳也さん／スポーツ…⑧～⑨
- 東京発／松代の自然……………⑩～⑪
- 大地の芸術祭／税の標語と作文…⑫～⑬
- 大沢勝也さんの手紙……………⑭～⑮
- 福祉・医療のページ……………⑯～⑰
- 文芸・カレンダー・町の行事予定…⑱～⑲

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地 1
TEL 02559 7 2220
FAX 02559-7-2526・7 2300
URL <http://www.d4.dion.ne.jp/~matudai/>

子どもは地域の力

2002年4月の学校完全週5日制に向けて

今回は、来年4月からはじまる完全学校週5日制について、新潟県教育委員会がすすめている「トータルプラン」の一部から紹介します。

学校週5日制の趣旨

学校週5日制では、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を明確にして、子どもたちに豊かな体験をさせていくことをとおして、子どもたちが自ら考え、主体的に判断・行動できる力や他を思いやる心、そして、穏やかな身体など「生きる力」をはぐくむことを目的に実施することとしています。

また、子どもたちが、家庭や地域社会で過ごす時間が増えることに伴い、家庭や地域社会が一体となって、子どもたちに基本的な生活習慣や生活能力を身につける活動の場を提供していくことが、子どもたちに思いやりの心や規範意識などを育てていくうえで大切だとしています。そして、こうした思いやりや規範意識を、地域や家庭が持つことも重要であるとしています。

子どもたちの地域の活動を充実していくことで、地域の子どもは、地域で育てるといった気運を高めていくことは、社会全体の課題と責任でもあります。



小学校でも大きく育ってほしいもの……（松代保育園の運動会から）



11月19日には「子どもの現状とこれからの教育」と題して上越教育大学助教授の濁川明男さんの講演会が行われました。

こうした取り組みや体制づくりは、子どもたちの健全な育成とともに、大人が子どもと一緒に人間として成長することにつながり、人間形成のうえで「大人の学び」も重要だとしています。

基本的な考え方

① 学校・家庭・地域社会がそれぞれ役割を果たして、協力しながら子どもたちを育てることとしています。そして、それぞれが連携を図りながら子どもたちに「生きる力」をはぐくみ、健全な成長を促していくために、それぞれが持つ役割を明確にし、「教育力」を発揮して子どもに豊かな体験づくりをすすめることとしています。



② 学校では、児童・生徒がじっくり学ぶこととおして基礎や基本の確実な定着を図ることが大きな役割となります。そして自ら学び、自ら考える力を育て、主体的な態度を育てることで、家庭での自主的な学習に発展できるようにします。また、土・日曜の過ごし方への指導を適切に行うこととしています。

③ 家庭や地域社会においては、学校週5日制の「ゆとり」の中で、生活体験、自然体験、社会体験、そして文化・スポーツ活動などの様々な体験活動や異年齢交流事業をとおして多様な人間関係を形成し、たくましい正義感のある子どもたちを形成していくとしています。

松代町教育委員会では

こうした中で、松代町教育委員会では、学校週5日制対応協議会を地域子ども会などの地域や学校・関係機関と連携を図りながらすすめています。

また、県作成のパンフレットを学校をとおして保護者に配布するなど、現在すすめている生涯学習事業とあわせて検討をすすめています。



今年もいろいろありました。広報で取り上げた話題から1年を振り返ってみました。

1月9日～10日

第21回世田谷新年子ども祭で交流10周年を記念し、世田谷区から町に感謝状。

1月16日 5年ぶりに豪雪対策本部を設置。この日の積雪270センチ。

1月28日 第15回上石巖杯争奪クロスカントリースキー大会に638人が参加。

1月24日 第44回新潟県中学校スキー大会（南魚六日町）リレーで松代中学校が男子、女子ともに3位入賞。

2月7日 第50回全国高校スキー大会（中頸妙高高原町）松代高校男子リレー9位。

2月7日 第38回全国中学校スキー大会（北海道旭川市）、関谷有希選手（松代中3年）選手が個人5*。クラシカルで3位入賞。

2月9日～14日

第3回早稲田大学雪掘りボランティアの皆さん36人が来町。

2月10日 “雪国体験ほくほく線”の松代編（企画：JR東日本関東支社及び妻有観光協会）が実施。

2月21日 第56回国体冬季大会（長野県飯山市）リレーで新潟県チーム優勝。1走関谷則和、2走宮澤健二両選手が健闘。

2月26日 第6次松代町総合計画（後期基本計画）審議会（石野英二審議会会長）が答申書を町に提出。

3月10日～11日

第14回越後まつだいで冬の陣 JRの特別列車運行。2万2千人がイベントを楽しむ。11日の雪中鉄人レース「のっとれ！松代城」は、山崎誠さん（柏崎市）が連覇。

4月1日 当町及び十日町市、川西町の3市町による十日町地域斎場（十日町市大字南鑑坂）が開所。事業主体は十日町地域衛生施設組合。

4月16日 “大地の芸術祭”（十日町広域圏6市町村主催）が第5回ふるさとイベント大賞で大賞（総務大臣表彰）を受賞。

4月29日 松代町町長選 無投票で関谷達治町長の4期目スタート。

5月3日 48人の新成人が出席し、松代町総合センターで成人を祝う。自主企画による交流会。

5月31日 中山間地域等直接支払制度の町への交付金は合計で141,235,031円

5月31日 松寿大学「いろり」21号発行

6月9日 松代町緑の少年団が世田谷区祖師谷公園「みんなの森」でブナ100本ほどを植樹。

6月10日 第22回松代町芸能発表会（会場：総合体育館）に22団体が出演。300人ほどが楽しむ。

6月15日 第5回ほくほく線沿線市町村婦人バレーボール大会に13チームが参加。優勝は十日町クラブ。

7月1日 第46回東頸城郡青年大会（会場：総合体育館ほか）

7月12日～9月17日

合併に関する町民対話集会を24会場で行ない、634人が出席。

7月26日 253号バイパス千年・松代高校間（総延長2,370メートル）が竣工。

7月29日 第19回参議院議員通常選挙投票日。

9月15日 各地区で敬老会 90歳以上の人は 41人。

9月21日～30日

新潟県立近代美術館所蔵作品展“巡回ミュージアム”（会場：ふるさと会館）に延べ2,300人。

10月6日～10月7日

第11回口・マン24（24時間耐久リレーマラソン）に45チームが参加。

10月14日 第3回ほくほく線沿線大正琴を楽しむ会（会場：総合体育館）に580人が参加。

10月21日 八王子・菅刈・田沢交流5周年記念式典（会場：旧菅刈分校）に60人ほど出席。

11月3日～4日

第1回松代町生涯学習フェスティバルを開催。

11月4日 東京松代会創立10周年事業の募金による特養ほくほくの里“松代ほくほく観音”除幕式・開眼式に90人参列。

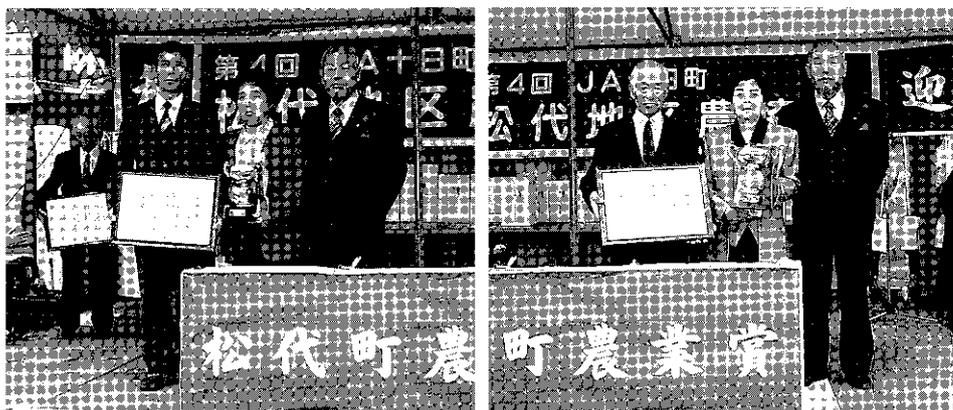


▲牛の丸焼きのイベントでニジマスの丸焼きにも挑戦



七ツ詣り

松代町農業賞に山岸正康さんと若井健吉さん



11月3日、農業賞の表彰式がJA十日町松代支店前で行われました。

今年の松代町農業賞は、山岸正康さん(東山)と若井健吉(蓬平)がそれぞれ受賞しました。式典は、農協祭とあわせて行われ、大勢の人が見守る中、行われました。

山岸 正康さん

山岸正康さんは、120枚ほどの田んぼを機械が利用できるよう20枚ほどにまとめました。栽培技術を高めるために、圃場整備と農業機械の共同利用をすすめ、高い品質の米づくりにつとめたことが中山間地の農業経営のモデルとして評価されたものです。米づくりの低コスト化とあわせて、葉たばこ、そしてしめ縄生産も手がけています。山岸さんは現在、東山協業葉たばこ組合の組合長を務めるほかJA十日町の総代として、また、地域においては松代町認定農業者として活躍されています。

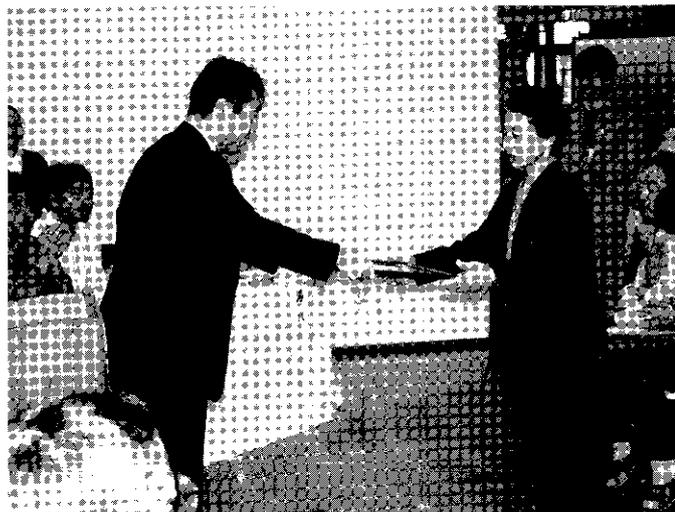
若井 健吉さん

若井健吉さんは、自分で所有する農地が少ないことから、農地を積極的に借り、水田の経営規模を広げています。また、日常、稲の観察を重点に米づくりに取り組んで、技術の向上を図っています。

こうした姿勢が地域の信頼を得ていることとあわせて、農地を集積することに成功したことがモデルとして評価されたものです。特に、近年、高齢化により田を作る人が減少しています。若井さんが稲を作ることで、田んぼが荒れることを防ぐことにつながっています。

また、若井さんは松代町認定農業者として地域で活躍されています。

市川新一郎さん(太平)がししとう栽培農家の最優秀賞



表彰を受ける夫人の市川弥生さん(右)

昭和60年から当町ではじまったししとうの栽培は、当時13人で3トンの生産量でした。その後、平成元年からは、当町が中心になって東頸城郡内の町村が共同で作付けをして、出荷をすすめてきました。現在、十日町市、川西町を含め、119人が栽培し、27トンが生産されています。

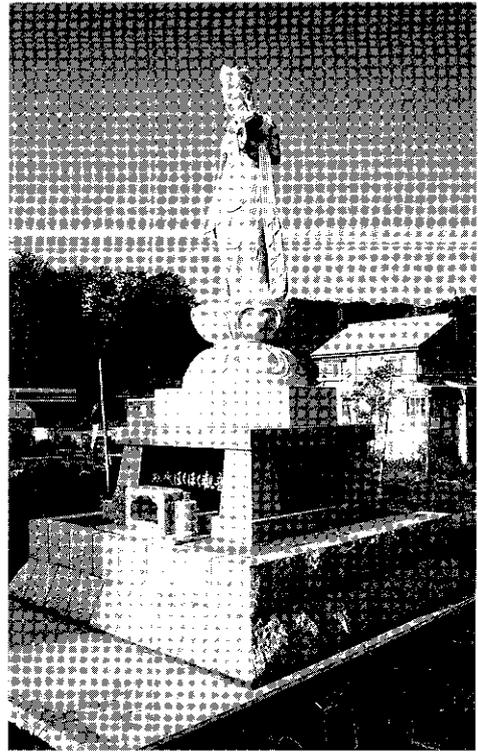
栽培農家の中で、市川新一郎さん(太平)は、もっとも生産量が多かったです。

「栽培農家の中で、市川新一郎さん(太平)は、もっとも生産量が多かったです。女性やお年よりでも手軽に栽培ができます」と話していました。

たことから今年の最優秀賞として全国農業協同組合新潟本部から表彰を受けたものです。

JA十日町松代営農センター長の関谷安則さんは「今年のししとうのkg単価は624円でした。ししとうは、限られた狭い農地でも栽培ができて、収入を上げることができ、女性やお年よりでも手軽に栽培ができます」と話していました。

“ほくほくの里”に観音様



東京松代会が創立10周年記念事業の一つとしてすててきた観音像がこのほど完成しました。

11月4日には、東京松代会の会長、武田晃平さん、そして地元から関谷町長をはじめ90人ほどが出席して開眼供養とあわせて、観音像除幕式を行いました。当日は、あいにくの天候でしたが、ほくほくの里へ入所している皆さんが二階のホールで見守る中、式典は行われました。

入所している人の一人は、「天気の良い暖かい日には職員に頼んで、車椅子を使っ



て観音像のところまで行っています。ありがたいことです」と話していました。



八王子市いちよう祭に出店

11月24日から25日に行われた八王子市いちよう祭に菅刈、田沢の皆さんを中心に出店しました。テントには八王子市職員組合の方も応援にかけつけるなどにぎわいを見せていました。今年も好評でした。

フリーマーケット愛の風

今年も好評でした



11月25日で終了したフリーマーケット愛の風には今年も多くのお客様の皆さんが参加しました。下水道工事で駅中央線から道の駅ふるさと会館前に場所を移して行いました。駅を利用する人にも好評でした。



太平の青空市感謝祭



11月11日、253号沿いにある太平集落の青空市で感謝祭が開かれました。感謝祭には、おにぎりやトン汁が振る舞われ、日頃青空市を利用している長岡市や柏崎市からのお客も訪れていました。また、くじ引きで1等を当てた石川県から来た人は「昨年再来ました。来年もまた来ますよ」と話していました。

平成13年度松代町消防団定例表彰から

新潟県知事表彰（30年精勤章）7名

分団	部	階級	氏名	分団	部	階級	氏名
本部	団本部	副団長	市川 嘉吉	1	菅 刈	団員	関谷 功
本部	役 場	団 員	武田 芳夫	2	片桐山	団員	柳 邦夫
本部	役 場	団 員	高橋 勝	4	竹 所	団員	五十嵐富夫
1	菅 刈	団 員	関谷 一秀				

新潟県知事表彰（20年精勤章）13名

分団	部	階級	氏名	分団	部	階級	氏名
本部	役 場	副分団長	佐藤 信	1	松 代	団員	斎木 英吉
本部	役 場	団 員	佐藤 弘	1	小荒戸	団員	山賀 晃
本部	役 場	団員	石口 博雄	1	蓬 平	団員	小塚 久雄
1	松 代	団員	齊木 優	2	滝 沢	団員	小林 昇
1	松 代	団員	市川 弘	3	筋 平	団員	高橋 勝
1	松 代	団員	村山 良一	3	寺 田	団員	井上 清隆
1	松 代	団員	関谷 則雄				

新潟県消防協会長表彰（幹部功績章）2名

分団	部	階級	氏名	分団	部	階級	氏名
本部	団本部	副団長	小塚 光夫	本部	役 場	団員	高橋 勝



自分たちのまちは自分たちで守る

火事や地震などの災害時に、地域防災の中心となるのが消防団です。

11月1日には、各地域の部長以上が出席して松代町消防団幹部会議が行われました。

これから降雪期をむかえ、ストーブやファンヒーター

など、火を使うことが多くなります。松代分遣所でも「火災の発生しやすい季節になりました。火災防止に注意してもらおうとともに、防火水槽や消火栓の雪囲いや除雪につとめてほしい」と話していました。

前松代町消防団団長の樋口堅一さんに勲5等瑞宝章



10月に亡くなられた前松代町消防団団長の樋口堅一さん（享年68歳）に勲五等瑞宝章が贈られました

樋口堅一さんは、昭和26年に、当時の松代村消防団団員となり、その後、昭和39年に松代町消防団副団長、そして、平成6年から松代町消防団団長として50年間当町の消防

団活動に貢献されました。その間、昭和60年に消防庁から永年勤続功労章、平成11年に功労章を授与されました。

【故・樋口堅一氏の主な職歴】松代町商工会理事・東頸城郡食品衛生指導員協議会会長・新潟県食品衛生協会指導員協議会理事・東頸城郡食品衛生協会松代分会長・松代町体育協会理事・東頸城郡食品衛生協会会長・（勲）上越食品衛生協会副会長・（勲）新潟県食品衛生協会理事・十日町たばこ販売協同組合筆頭理事・松代町観光協会会長



松代に住んで

赤津ストヤリノフ佳也さん



▲こちらは、世界的に活躍する音楽家のボイコ・ストヤリノフさん

私が松代に移り住んでから、あつという間にもう三カ月も経ち、初めての冬を迎えようとしています。ここ松代でも初雪が降り、だんだんあの話に聞いていただけの大雪になる日が近づいてきていることが感じられます。

こんな大変な雪国だからなのか、松代に住んでいる人たちは何か力強く、生きる力のようなものを持っていると思います。そして協力し合ったり助け合ったりと、家族の小さな作業にしても町で大きなイベントをつくり上げるにしても、とてもまとまっていると思います。お年寄りの方は助け合うことを「お互い様だから。」とよく言います。やは

り気候が人柄に出るのだと思います。

私は松代でも山の奥にある小屋丸に父と住んでいます。本当に自然が美しく、空気も水もおいしく、いろいろな動物、植物が身近にあり、そのほかにも数えきれないほど素晴らしいものがたくさんあります。近所に住む方々はともあたたかく、慣れない私たちに優しくしてくれます。私は十九歳で小屋丸では最年少です。最近では、小さな町や村では過疎化がすすんでいるので、私は会う人会う人に不思議がられます。でも、私は自然が大好きだし、音楽をしている父と美術をやっている私にとっては最高の場所だと思っています。今まで雪がめつたに降ることのない太平洋側で楽に生活してきた自分にとっての挑戦でもあります。

でもやっぱり小さな村なので、家の周りで不便な所や安全性の上で危険なところもまだまだありますが、福祉を進めている我が国日本のことなので、改善され

ることによって生活空間を築くことができると思います。

そして松代は、貴重な歴史、文化などもたくさん隠されて所だと思えます。そんな長所をもっと生かして町づくりをしていければもっともっと魅力的になると思っています。そうすることによって町の過疎化もよくなつていくのではないのでしょうか。私も今から、松代に仲間入りですが、皆さんに負けないように、色々教わりながらがんばりたいです。自然の厳しさを正面から受けて、また一歩強くなりたいです。皆さんよろしくお願います。

2001年12月2日



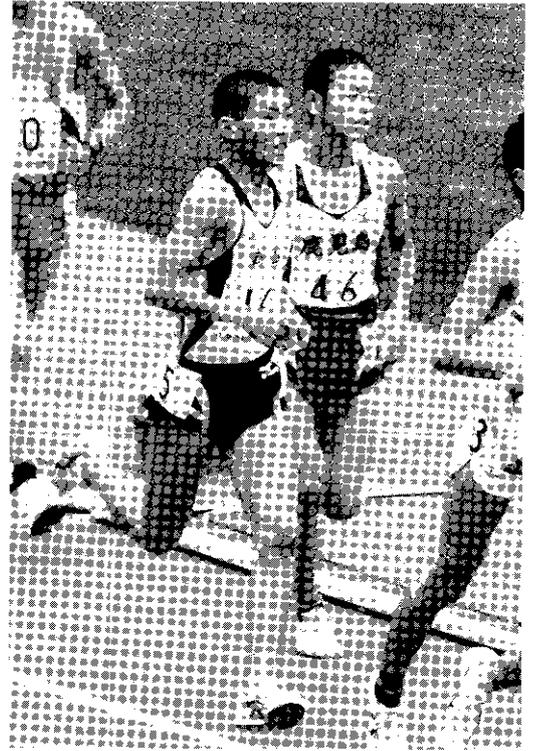
松代町体育協会会長表彰から

体育功労賞

受賞年度	住所	氏名	備考
昭和62	松代	富沢 恭松	スキー協会
昭和63	松代	万羽 卓司	卓球
昭和63	松代	高橋 徳	マラソン
昭和63	松代	本山 豊樹	バレーボール
昭和63	松代	柳 キノ	レクダンス
昭和63	松代	高橋 芳平	野球
昭和63	松代	吉沢光学(株)	バレーボール
昭和63	太平	太平友の会	ラジオ体操
平成5	松代	高橋 清	アーチェリー
平成5	松代	高野 昭司	剣道
平成6	松代	樋口 克己	剣道
平成6	室野	米持 徳二	奴奈川地区スポーツ振興会
平成6	松代	南雲 一男	バレーボール
平成7	松代	関谷 詠子	ゲートボール
平成7	松代	柳 卯一郎	バトミントン
平成8	小荒戸	富沢 忠平	ゲートボール
平成8	松代	関谷トシ子	レクダンス
平成9	松代	市川啓次郎	ゲートボール
平成9	田野倉	池田 清子	バレーボール
平成10	室野	小堀陽七郎	ゲートボール
平成11	小荒戸	富沢 和平	ゲートボール
平成12	会沢	萬羽 五一	ゲートボール
平成12	松代	若井 正子	レクダンス

優秀指導者賞

受賞年度	住所	氏名	備考
昭和63	峠	牧田 義雄	ノルディックスキー
昭和63	松代	鈴木幸紀代	バレーボール
昭和63	松代	柳 一郎	剣道
平成5	松代	鈴木 孝雄	スキー



みやぎ国体で男子3000メートル16位と力走した五十嵐真悟選手(高1)

今回は、昭和63年から始まった松代町体育協会会長表彰について調べてみました。体育功労賞と最優秀指導者賞について、受賞した人の声とあわせて紹介します。

平成12年度に体育功労者賞を受賞した二人

平成5年度に優秀指導者賞を受賞した
鈴木 孝雄さん(松代)



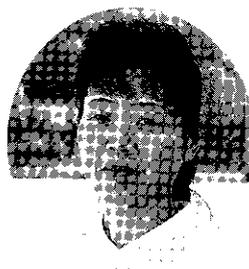
スキートの指導員と検定員の資格を持つ鈴木さんは、子どもたちへの指導を通して感じることは、親が子どもをもっと外に出すことだと話していました。親も自立しているように子どもにも自立する機会を与え、経験を積んでいくチャンスを与えていくことも必要です。

萬羽 五一さん(会沢)



現在二級の審判員の資格を持つ萬羽さんは、町のゲートボール協会です。今年まで競技副部長、そして、今年には指導部長でした。年間に、10回ほどの公式戦の審判を務めます。ゲートボールを通して友だちができたのが何よりの財産、と話していました。

若井 正子さん(松代)



レク・ダンス愛好会で事務局と副会長を務める若井さんは、レク・ダンスの楽しさは、身体を動かすことで手軽に気分転換をはかることができること、と話していました。現在、第1と第3月曜の八時から総合センターに集まっています。あなたも参加してみませんか。



故郷を後にして



小山 正武

横浜市在住

(桐山・小松)



私は昭和24年3月、桐山の小松の次男として生まれました。39年春、桐谷中学校を卒業、そのままの家庭を手伝いましたそして、その年の稲刈りの終わりを待つて兄と共に上京。築地の蒲鉾の仲買に就職しました。15歳の秋でした。1年後、お店のお客さん

のお世話で横浜の玉子焼き屋に転職。更に玉子焼き屋のお客さんのお世話で、同じ市内の青果物卸業「つま清」に就職しました。「つま清」では約10年卸業の仕事で「修行」、28歳の時に独立致しました。オイルショックで不安がいつばいの船出でしたが、幸いお客様に引き立てられたこと、従業員に恵まれたことにより、売上げは順調に推移し、業績を引き伸ばすことができました。友人と二人だけで、社と共にして24年。今では社員も40名に増え、お蔭様で横浜の業界のトップに成長致しました。



現在の業種は業務用青果物の卸で、横浜を中心に東京、湘南、相模方面のホテルやレストラン、割烹などへ毎日野菜、果物、珍味などを配達しております。インターネットのホームページでも注文を受け、地方への発送も行います。横浜の青果物業界では組合の副理事長を、また、ライオンズクラブではリジョンチェアマンを、調理師会では神奈川口調会副会長を、

東京だより

《松代ほくほく観音完成》

紅葉たけなわな11月4日、地元各界より53名、当方から32名が参列するなかで、6名の代表により除幕が行われ、東京松代会の郷土愛の象徴ともいえる「松代ほくほく観音」が、その御姿を現しました。

完成後の諸行事の準備などに奔走してくださいました。鈴木益蔵様からは見事な揮毫を頂戴し、長命寺ご住職・本山祖道師からも数々のご助言をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

《十周年記念祝賀会》

◆日時 平成14年1月20日 11時30分より

◆会場 浅草ビューホテル 三階・祥雲の間

◆会費 男性 八千円 女性 七千円

十周年記念事業の締め括りとなる祝賀会です。皆さん奮ってご参加ください。詳しくは会報11号と案内状をご覧の上、返信ハガキによりお申し込みください。

〔注〕 従来、返信ハガキは松代冬の陣の出欠回答も兼ねましたが、今回は祝賀会のみです。冬の陣案内状は本誌1月号に同封させていただきます。

紅葉たけなわな11月4日、地元各界より53名、当方から32名が参列するなかで、6名の代表により除幕が行われ、東京松代会の郷土愛の象徴ともいえる「松代ほくほく観音」が、その御姿を現しました。

《地元のご協力》

以上をもって観音像完成に伴う一連の行事を滞りなく終えることができましたが、ここに至るまで地元の皆さんから並々ならぬお力添えを賜りました。

役場ご当局は、施工業者との折衝を始めとし、観音様の名称や揮毫者の選定、

神奈川法人会では神奈川ブ
ロック長などを仰せつかり、
毎日忙しく飛び回っており
ます。

横浜にお出掛けの節は、
電話をいただければ、中華
街、山下公園、外人墓地、
みなとみらいなどをご案内
申し上げます。また、結婚
式や宴会、宿泊などのご利

●松代の自然●

用がございましたら、横浜
のホテルにはほとんど出入
りしておりますので、格安
でご紹介致しますので、ご
連絡ください。

時折、東京松代会からは
行事参加のお誘いを受ける
のですが、多忙に紛れて欠
席ばかりで申し訳ありませ
ん。

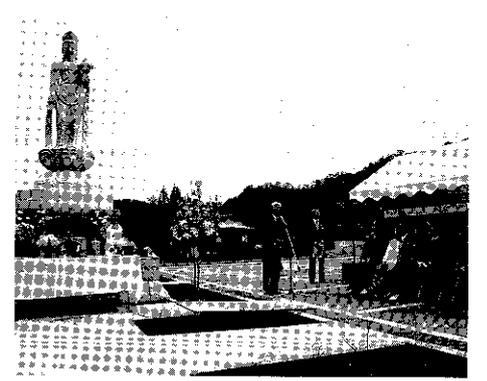
故郷松代町とふるさとの
更なる発展を心より祈って
おります。

(株)つま正

(TEL) 045-441-0889

☆ホームページ

www.tsumanasa.co.jp



フクロウ

「ホッホ・ホーホー」

という野太い声が夜の闇の彼方の森の中から
聞こえてきますと無気味な感じがするものです。
これはフクロウの声なのです。

この声はいろんな聞きながされておしまし
て、この辺では「糊つけ干せー」と聞こえて、
明日は天気が良くなるから洗濯物に糊を付けて
干せ、と指示しているのだといわれ、確かに翌
日は晴天になるものでした。

また「五郎助奉公」とか「ボロ着て奉公」「小
僧来い、小僧来い」とかいわれ、昔の小僧奉公
人の苦勞をからかうのか督励するのかに聞きな
しています。

フクロウは1年を通じていることになっては
いますが、個体が少ないし、冬は餌になる生き
物などが雪の下で冬眠してしまいうので雪のない
地方に移動するようです。

この写真は松代の関谷八郎さんが『十王堂』

という尼寺の近くのカエデの木の枝で昼寝をし
ているのを発見して撮影したという珍しいシー
ンです。このように昼は木陰で眠っていて夜間
行動で、柔らかい翼から羽音を消して音もなく
獲物を襲い、鋭い爪で仕留めます。

よく夜は見えるが昼は見えないのだといわれ
ますが、昼でもカラスに追われて逃げている場
面も見られますから、眼の瞳孔が開いているの
で眩しいだけで、見えるのでしょう。

仲間に小型の夏の渡り鳥として南から来るア
オバズクというのが来たものですが、このごろ
はその「ホーホー」というのどかな声が聞かれ
なくなつて寂しい思いがします。

フクロウの首は一回転するという奇妙な能力
もあつて四方に睨みを利かして獲物を狙ってい
るのです。

飼うとよく馴れて頭脳もよいそうです。

(文 高橋八十八)



写真 関谷八郎さん撮影

当選作家は、次のとおりです

十日町市鉢集落は水内貴英さん

川西町中子はトゥ・ザ・ウッズ、中仙田は春日部幹さん

中里村重地集落は山田良さんと綾子さん

松代町犬伏は塩澤宏信さん

なお、津南町上野と松之山町松口大荒戸線では当選プランがありませんでした



塩澤さん

今回の里創プラン通信で紹介した第2回大地の芸術祭の作家を選定するアイデアコンペティションの結果がこのほどまとまりました。審査は11月25日に行われ、十日町地域圏域7か所の公募ポイントの当選プラン及び入選作品プランは次のとおりとなりました。

- ① 十日町市鉢 水内貴英さん（武蔵野美術大）のプラン 「MEETS」
- ② 川西町中子 グループ「トゥ・ザ・ウッズ」（オーストリア）の「ベリー・スプーン」
- ③ 中仙田 春日部幹さん（東京）「20 ninyles walks」
- ④ 中里村重地 山田良さんと山田綾子さん（神奈川）のグループが提案した「Nature、Natura」
- ⑤ 松代町犬伏 塩澤宏信さん（東京）の「翼／飛行演習装置」



作品「翼／飛行演習装置」のプラン

以上でした。
なお、津南町上野と松之山町大荒戸については当選プランがありませんでしたので今後は、公募から招待作家による作品が制作される予定です。

今回のアイデアコンペでは、海外からの応募19点を含め圏域全体で応募総数は525点もあり、第1回の大地の芸術祭が高く評価され、関心が高かったことをものがたる結果となりました。

審査には、審査員として第2回大地の芸術祭の国際アドバイザー、ローザ・マルティネスさん（スペイン）をはじめ、ハウ・ハンルウさん（中国）、トム・フィンケルパールさん（アメリカ）、そして、中原佑介さんといった美術の世界で国際的に活躍されている皆さん、そして、川俣正さん（芸術家）、原広司さん（建築家）が加わりました。また特別審査員として杉井明美さん（園芸家）が中子と重地、中村錦平さん（陶芸家）が鉢と犬伏の審査にそれぞれ加わりました。

審査では、審査員の間で議論が交わされるなど、熱のこもった選考会でした。また、慎重に選考を行うために、地元住民が参加して公聴会も交えて行われました。そして、最終的に入選29作品、その中から当選プラン5作品が選ばれました。

入選した人と当選プランなどの詳しいことはホームページでもご覧いただけます。

ホームページのアドレスは
http://www.tiara.or.jp/~t_kouiki/

高田税務署長賞

「作ろうよ 輝く未来を 税金で」

松代中学校3年
柳 沙織さんの作品

新潟県納税貯蓄組合総連合会会長賞 優秀賞（作文の部）

高田地区納税貯蓄組合連合会会長賞 最優秀賞（作文の部）3年 駒形 直子さん

高田 税 務 署 長 賞（標語の部）3年 柳沙織さん

高田地区納税貯蓄組合連合会会長賞（作文の部） 優秀賞 3年 鈴木 久代さん

優秀賞 3年 関谷 知之さん

奨励賞 3年 市川 聡子さん

今回は、税に関する作文で新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞・高田地区納税貯蓄組合連合会会長最優秀賞の駒形直子さんの作文を紹介します。

駒形さんと柳さんは「作文をとおしてをとおして税について詳しく学ぶことができました」と話していました。



駒形直子さんと柳沙織さん

税金に支えられて

松代中学校3年 駒形 直子

近年、日本全国に英語の指導助手をするALTが文部科学省から派遣されるようになりました。ALTはとても人気があるようですが、そう簡単にはなれないという現状があります。目的は、外国人とコミュニケーションをとったり、活発的に英語が使えるようにするために派遣されてい

て、私の学校も何年前から取り入れられ、この2学期からもカナダからいらっしやるイバさんと一緒に英語を勉強することになりました。本場の英語を生で聞くことができるので、私達にとってはとても喜ばしいことです。このような体験ができるのはALTが税金で全てまかなわれていること

を初めて知り、とても感謝しています。なぜなら、税金があるおかげで、本場の英語を聞くことができ、いつかもっと英語で話すことが得意になればいいな、と自分自身目標を持つことができたからです。「税」がなければ、今このような目標を持つことができなかったと思います。もう一つ税金と関連した学校のこと、感謝していることがあります。去年の夏に行われた工事のことで、2億6千万円もの費用をかけて校舎を地震のために強化させました。平成7年に起こった、阪神大震災でも広い地域にわたってもすごい被害を受けたとテレビで知りました。万が一の時を考え、大地震にも抵抗できる校舎で今、学校生活が安心して送られていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

あらためて、「税金」について深く考えると、私達が生きていくうえでなくてはならない存在だということ、を忘れてはならないと思います。税といえは良いイメージを持つ人はゼロに近いと思うし、私も税についてくわしく知るまでは「私には関係ないだろう。」などとマインスに考えてしまいましたが。もし、私のような考えを持つ人がいるならば、もう一度自分が税によって助けられたことを思い出し、その時の気持ちに振り返ってみて下さい。自分がした良い行いは、必ず何らかの形で自分の身に返ってくるはず。私もいずれば社会に貢献し、税金を納めるようになります。でもその時は必ず、感謝の気持ちで払いたいと思っています。そして誰もが税に心を寄せ、積極的に納めてくれるような人が一人でも増えてくれたら、税と共に豊かな社会、国づくりが目指せるような気がします。

これから税による社会へ一歩一歩、歩んでいきます。そしていつまでも税金が私達の尊敬し続けるヒーローであってほしいと思います。

大沢勝也さんからの手紙



図書館にて

平成11年秋に町に図書館ができることを聞きつけ、大沢さんが所有する蔵書を町に寄贈していただきました。その際にいただいたお手紙を紹介いたします。

なお、蔵書は、一般開架の棚に一部ありますのでご覧ください。

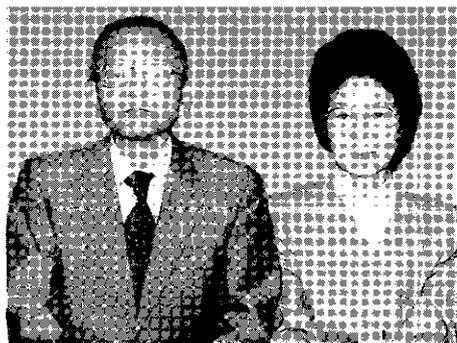
わたしは、今から46年前（当時、前助役の関谷政和さんが中学生だったころ）新潟大学高田分校を出て、初めて赴任したのが松代中学校でした。わたしの40年の教師生活の出発がこの松代町から始まったのです。そして、松代中学校に6年間勤めて1959年（昭和34年の春）、東京の世田谷区にある私立学校の和光学園の教師として採用してもらい、

それから30数年、学校を変わることなく（私立には転勤というものがなかったので）和光一校に勤めてきました。和光での定年は63歳ですが、定年までまだ8年もあるのに、健康を害して（慢性腎不全）透析を必要とするくらいになりましたので、すぐ退職し、教師生活に終止符をうつて、透析を続けながら、週3回の通院生活を行って行っています。その透析は、

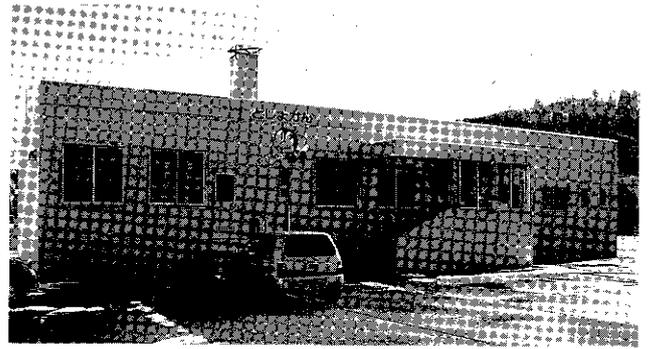
ご承知だと思いますが、病院で透析機の傍らのベッドで4時間寝て、左腕の血管に針2本を差してそこから血液を抜いて、それを機械を通してきれいにし、またからだにもどすだけです。でもそれが終わるとかたがたがすっかり消耗して、血圧が下がり、（180もあつた血圧が100近くになっている）からだがフラフラしてしまいます。それで、電車で帰ってくるのですが、駅の階段を、息をきらしてのぼり、やつの思いでプラットホームまでのぼり、入ってきた電車にころがりこむようにして乗ってきています。なんとなく実感として、もう先が永くないと思われて、身辺整理をしておこうという気になったりします。身辺整理といっても、わたしの物としてあるのは本ぐらいいすから、その本をどこかへ寄贈して役立てたいと思っていたのです。

4、5年前にかつての教え子たちの同級会に招待されて、久しぶりに松代町に

行ってみました。過疎化に悩む松代とは聞いていたのですが、大宇松代は素敵なふるさと会館ができていたり、会場の芝罘温泉に泊まつたりして、40数年前の松代では考えられないことが起こっていると思えました。そして、昨年夏はくはく線の開通した後の松代町にやはり同級会の招待で行ってみたら、ますます大宇松代は、あの地域のセンター化していることを知りました。かつて高柳町岡野町は鉄道の通る柏崎方面へへるための通過地でしたが、今やほくほく線ができてからは松代の方へやってくるというのを聞いて、大宇松代がああ地域のセンターになりました。まだ、町立の図書館がないと聞いたので、将来図書館ができたときにと、思っ、もう古くなつた本ですが、寄贈させてもらおうと思ひ、やや強引だと思つたのですが、思ひつたときにすぐと思ひ、トラックに2台分だけお届けしました。もう1台分は春になつ



大沢先生と夫人のフミ子さん
平成7年の松代中学校同級会
に出席の際



て雪が消えたらお送りしたいと思っています。

ところで、気になります。ことは、わたしの持つていた本は、今、町民が読んでみたいと思うような本はほとんどないだろうという事です。やはり個人で購入したいと思う本は、どうしても専門書になってしまい、一般的な読みものや小説類ほとんどない事です。どうしても職業柄、教師であったから、教育書と歴史関係の本が多いのです。

その点、町立の図書館や公民館の本として役立つことは少ないと思う事です。たくさんのお書があつて、やや専門的な本を…と求める人には役立つことはあると思いますが、その点が気がかりです。

考えてみると、わたしはたいして趣味はなく、定年後の老後生活はもっぱら好きな本でも読んで、のんびり過ごそうと考えて、お小遣いのできるだけ書籍の購入に使ってきていました。ところが、50歳を過ぎたころから、目が悪くたびたび

眼底出血を起こすようになり、出血した血は引いても目の硝子体の汚れが残るようになり、硝子体の汚れを洗い流す手術を入院しながらやりました。でもその手術も左眼で失敗し、今左眼は失明中です。右眼だけの生活になりましたが、全体として視力が落ち、更に白内障の手術を受けて生活しております。楽しみにしておりました老後の生活の読書も無理になりました。

こんなことでしたら、もう少し高価な本でも、もっと活字の大きい本を購入しておけばよかつたと思つたりしています。本当に活字の細かい本などを選んで買つていたことが悔やまれます。でも、わたしの手を離れた本は、今度は別の人の手で読まれると思うと悔いは残りません。どうか町の人に読まれて、役立つ本になることを願っております。(省略) いい春が松代に来ることを祈っています。

図書館の読み聞かせの会

あなたも参加してみませんか
一緒に子どもの夢を育てましょう



11月4日、子ども祭の一つとして図書館で行なわれた読み聞かせの会には30人ほどが集まりました。

当日の読み聞かせの会では、鈴木つゆ子さんが絵本、「青い飛行船」の朗読や吉田ゆうさんの紙芝居、そして相沢タツ子さんの指人形を楽しんでいました。

事務局をしている吉田さんは「読み聞かせのボランティアを募集しています。本を好きな子どもを育てるためにも、ぜひ一般の人や高校生も参加してほしい」と話していました。

連絡は教育委員会生涯学習課または、直接図書館まで

松代町民生委員・児童委員名簿

氏 名	電 話	屋 号	担当地区
関谷ノブ	7-2161	せ き や	松代
山賀廣治	7 2876	だ い き ち	小荒戸・太平 菅刈・田沢
市川ゆみ子	7-3798	い し は ら	小屋丸・池之畑 下山
室岡一恵	7 2574	お お や	千年・池尻
小山信次	7 3421	し ろ べ い	会沢・清水 桐山
小堺金一	7-3640	こ ま つ や	蓬平
中嶋愛子	7-3849	し た う し	海老・東山
山本篤子	7-3911	あ ぶ ら や	犬伏・孟地
石田安一	7-2435	おきのほら	芋島・中子 片桐山・滝沢
室岡貞治	7 3328	かみおやけ	田野倉・仙納 筋平
丸山恵一	7-3156	げんじろう	名平・蒲生
小堺ヒロ子	7-3389	あ さ え ん	儀明・寺田
関谷厚権	8 2633	と も ぜ ん	福島・奈良立 室野
牧田マツエ	8-2005	こ う さ つ	峠・竹所 木和田原
齋藤充代	7-2835	さ い と う	主任児童委員 町内全域
石黒良泉	8-2003	洞 泉 寺	主任児童委員 町内全域

福祉のこと、子どものこと、悩みがあったら

民生委員・児童委員にご相談ください

民生委員児童委員と主任児童委員は地域の皆さんの悩みや相談に
応じています。

民生委員児童委員と主任児童委員の内容とあわせて委員の皆さんを
紹介します。

民生委員児童委員はどんな
ことで相談にのってくれる
のでしょうか……

生活のことで悩んだり、
児童のことで相談したいと

きや、福祉・保健の制度を利
用したいと考えている方へ
の相談に応じています。

そのほか、一人暮らしの
お年よりや障害を持つ方へ

の訪問を行うなど、住民が
安心して暮らせるよう活動
をしています。

また、主任児童委員は、
児童福祉について関係機関

と連絡調整をしながら、専
門に担当しています。その
ほか、それぞれの地区を担
当する児童委員を支援して
います。

いずれの委員も無報酬で
活動を行っています。

任期は……

平成13年12月1日から3
年間です



おめでとうございます



牧田マツエさんが全国民生委員・児童委員連合会
から表彰を受けました

牧田マツエさん(峠・こ
うさつ)は、昭和58年か
ら民生・児童委員として活
躍され、地域福祉に貢献
したことから表彰された
ものです。

受賞に際して、牧田さ
んは、「今後も一人の町民
としてお役に立ちたい」
と話していました。
おめでとうございます。

松代高校から……



松代高校から2件の寄付をいただきました。寄付は、文化祭でのバザーの収益金、そして図書委員会が募った募金で、町の社会福祉協議会にいただいたものです。金額はそれぞれ、収益金42、239円と募金4、110円でした。町長室を訪れた文化祭実行委員会の関谷佳美さんと石口泰子さんは、それぞれ、「町の福祉に役立ててほしい」と話していました。また、関谷さんは、「文化祭も地域の方からご協力をいただき、成功することができました。地域の皆さんに感謝しています」と話していました。

子どもチャリティバザーの売り上げを
ほくほくの里に寄付 売上金は9、038円



11月4日に松代小学校体育館で、子どもチャリティバザーを行いました。子どもたちは家にある品物をめいめいが持ち寄って保護者で行った子ども祭りのバザーの売り上げ金は9、038円でした。売り上げ金は、ほくほくの里に寄付する際、施設から要望のあったほくほくとバケツ10組を購入して届けました。ほくほくの里では「子どもたちからいただいた清掃用具は、施設にボランティアでおいでになる人たちから大事に使ってもらいます」と話していました。出店の際はご協力をいただきました。ありがとうございます。



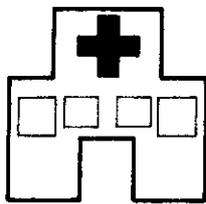
財団は、理想科学(株)が「心の通い合うコミュニケーション」の確立を目的に設立したもので、今回松代小学校をはじめ県内3校に孔版印刷機リソグラフの贈呈がありました。印刷機は使用しているパソコンと直接ケーブルで接続され、文書がそのまま印刷できるものです。さっそく印刷した教職員の一人は「写真も高画質のまま、素早く印刷できて便利」と話していました。



松代病院だより

糖尿病の方へ

体験入院を実施しています



大人の糖尿病の大部分は自覚がなく、症状が表に出てきません。はじめて糖尿病と診断された方、主治医にすすめられた方、食事療法に自信のない方など、自分自身の身体の状態を正しく知る必要があります。そして、糖尿病の悪化予防に生かすことが大切です。入院をすることで、治療

方針の決定、そして、糖尿病に対する正しい理解ができます。また、自己管理の参考になります。8日間入院のモデルとしては、火曜午前に入院し、翌週の火曜午前に退院するケースがあります。入院している間、ビデオによる学習や運動療法、そして食事療法・薬物療法などの話を聞きます。また、食事前に毎回血糖を測定します。問い合わせは県立松代病院外来まで(TEL 7-2100)

町の福祉に役立てて

JA十日町 100万円

明るい地域に

東北電力(株)十日町営業所から防犯灯の蛍光灯9灯の寄贈がありました。

東北電力(株)からは、昨年も蛍光灯の寄贈を受け、町では、松代大新田の宅地内の防犯灯整備に利用しました。なお、防犯灯の設置に関する問い合わせは、役場総務課まで。

文芸

短歌

吾が打ちし桜の楳ほだの初なめ
こ肉厚にして栗毛色濃し
本山 祖道
堤防に目印のごと点々と等
間隔に釣り人の居る
市川 辰雄
色あせし野山に映える大銀
杏落ち葉降り散る立冬の朝
笠原 トミ
この秋の葉物芋類すべて良
く自給自足の食卓に満つ
柳 こめ
いただきし雪降りぼうずと
言ふ茸五時はや暗き今宵囁
みしむ 野石 念

しづみ俳句会

義経の主従が宿りし祠あと
雨晴しの海に肅として立つ
金沢市 小林 淡水
秋深む暮れ六つの鐘撞き終
る 八千代
栗二ツ乗らぬ小さな手を開
く 紅茶
大寺の色づき増せし大銀杏
六花
こぼれ萩台座に置いて道祖
神 辰風
托鉢の僧連れ立ちて菊日和
淡水
蓮根堀足をとられて立往生
ひろし
作品の出来はまづまづ文化
の日 とし子
夕映えの二階の手摺掛大根

蒲生句会

山静か老人一人茅を刈る 枯水
公鳴
出入口窮屈にして菊の鉢
翔山
すんなりと力の抜けし干大
根 耕山
おでん鍋妻の喜ぶ八ツ頭
朴雪
時雨るる逃げ足早きダン
プ 月日
大ぶりの豆腐をあぶり恵比
寿講 鐵堂
老いたれば何処も早めの冬
構え 折人
とつぷりと開がきている茸
飯 龍峰

少年に関する 悩みごとの相談を お受けしています

開催日時：毎月20日19:30~21:00
会場：松代活性化センター
相談員：松代地区少年補導員
問い合わせ：下記の少年補導員まで
村山達三(東部タクシーTEL7-2254)
鈴木孝雄(タカ損保TEL7 3630)
瀬沼洋子(瀬沼そばTEL7-2055)

お買い物は町内で 歳末大売出しは 12/20(木)~12/25(火)

その場で商品券が
あたる



一株に玉が10個もある白菜
小堺忠吉さん(蓬平)



すごい山芋です！
中沢多七さん(寺田)

人口の動き

男	2,116人	(-8人)
女	2,214人	(-4人)
計	4,330人	(-12人)
世帯数	1,478世帯	(-2世帯)
出生	0人	死亡 11人
転入	10人	転出 11人
(13年11月末日現在)		

編集室

初雪に続いて、雪があたり一面を白く覆いはじめました。降る雪に、クリスマスツリーの明かりがゆれます。このツリーは、毎年、商工会青年部の皆さんが通りを飾ってくれているものです。この明かりにホッとする人も多いと思います。大型店は、わたしたちの住む街にこのようなことはしてくれません。まちづくりは、本当は、身近なところからはじまっています。

(11月1日~11月30日)



幸せ多い人生を(婚姻)

南雲 壮一・宮内 マリさん
(室野・にしろらや商店)
相澤 貴史・栗林 薫さん
(松代・まつひろ建設)
若月 賢次・中林智恵子さん
(孟地・ほんじょう)

ご冥福を祈ります(死亡)

高橋民五郎さん 81歳
(蒔平・げんじん)
山岸 トミさん 84歳
(東山・うら)
柳 米吉さん 86歳
(孟地・いとど)
小堺 博大さん 77歳
(儀明・さくべい)
関谷 龍蔵さん 79歳
(池尻・せいぜん)
福島志津子さん 65歳
(松代・ますだや)
高橋 卯吉さん 86歳
(田澤・まんぞう)
本柳 ヨシさん 96歳
(仙納・こうや)
山岸 コイさん 95歳
(蒲生・たろえん)
関谷 萬蔵さん 85歳
(松代・もりたや)

町の行事予定 (12・1月)

お知らせ

12/21(金)	小・中学校2学期終業式 心配ごと相談(デイサービスC)9:00~(担当:宮澤)
22(土)	冬至
23(日)	天皇誕生日
24(月)	クリスマス・イブ 振替休日
25(火)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00~(担当:柳) 消防年末特別警戒(~27日)
26(水)	
27(木)	
28(金)	仕事納め
29(土)	年末年始休業(~1月3日まで)
30(日)	
31(月)	大晦日
1(火)	元旦 休日当番医:浦川原診療所
2(水)	休日当番医:牧村診療所
3(木)	休日当番医:県立松代病院
4(金)	仕事初め 心配ごと相談(デイサービスC)9:00~(担当:村山)
5(土)	
6(日)	小寒 休日当番医:竹内クリニック 消防出初式 長命寺の橋付近 13:30~
7(月)	当番医:大正医院
8(火)	当番医:浦川原診療所
9(水)	小学校3学期始業式
10(木)	
11(金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00~(担当:齋藤)
12(土)	
13(日)	世田谷新年子ども祭り(世田谷区役所中庭付近)9:30~ 成人の日 休日当番医:大正医院 松代大相撲初日 松代町書初め展(松代総合センター)
14(月)	松代町書初め展(松代総合センター)
15(火)	小学校休校 松代町書初め展(松代総合センター)
16(水)	県中学校スキー大会
17(木)	
18(金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00~(担当:石黒)
19(土)	
20(日)	休日当番医:浦川原診療所 東京松代会創立10周年記念祝賀会並びに新年会 (浅草ビューホテル)11:00~受付

12月23日(祝日) 松代ファミリースキー場オープン

デイトタイム(日中)リフト無料
問い合わせ

松代ファミリースキー場
(TEL 02559-7-3330)



第15回越後まつだい冬の陣

開催日 3月9日(土)正午~10日(日)



テーマは
"よみがえれ! 雪国の炎"です。
また、3月10日の"のっとれ!
松代城"では、仮装部門で出場
する戦士も募集します。
(詳しくは、次回発行の本誌1
月号をご覧ください)

ほくほく線 12月1日のダイヤ改正

変更になった松代駅発の電車は次のとおりです

六日町行き

18:09⇒18:04

20:28⇒20:24

21:16⇒21:17

22:22⇒22:24

22:46⇒22:47

直江津行き

18:35⇒18:47

20:52⇒20:53

21:34⇒21:35

なお、11月に配布の時刻表の残部があります。事業所等
で必要な場合は総務課窓口まで。



しづみの家で"一生懸命"



しめ縄づくり

焼き物教室

これがしし座流星群です(11月19日午前5時ごろ群馬県内)
写真は、当町の星座観察の講師でもおなじみの南雲敏夫さん(川西町在住)が撮影したものです。南雲さんは「見ていて楽しかった。次回、もっとも多くの流星が見ることが出来るのは30年後です」と話していました。貴重な1枚、みなさんよく見てね!



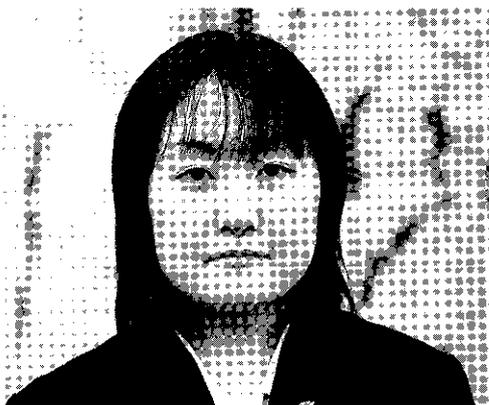
11月 3日・4日

みんなでつくる生涯学習フェスティバルから



発行 / 松代町役場総務課

おじやまします



今回は松代高校の文化祭「雪穂祭」で実行委員長をした生徒会長の関谷佳美さんをたずねました。

今回のテーマは「翔(かける)」でした……
松代高校の成長をテーマにしました。

準備をとおして、みんなが一つのこと熱中し、つくり上げていく。そうしたことから、わたしたちは成長していくのだと思います。

また、製作をとおして、それぞれが打ち込んでいる姿をうれしく思いました。

3年に一度……
校内祭は、毎年行っています。でも、一般の人から学習活動や学校生活をご覧

いただくのは、3年に一度の文化祭です。この雪穂祭は、二日間行いました。3年に一度ということで、やはりみんなの意気込みが違いました。一般の方からもご覧いただくので、やはり緊張しましたね。もう、お昼も食べないでがんばりました。生徒が、そして、一般の人が楽しんでくれるのなら、苦勞をいとわず、そんな感じで臨みました。

大変だったことは……
最初、生徒会の人たちだけががんばっていました。でも、日が経つにつれて、苦勞をともにする人が増え、みんながその苦勞を分かち合い、それぞれに絆が生まれたのは、目に見えるものでした。すばらしいなと思いました。

「雪穂祭が成功でした。皆さん、お疲れさまでした。」

「雪穂祭が成功でした。皆さん、お疲れさまでした。」